

「シモーヌ・ヴェイクの薔薇」植樹式



6月3日午前10時、バガテル・ラ・ロズレで開かれた植樹式に参加させて頂きました。



バガテル・ラ・ロズレは、広大なブーローニュの森の中に位置する、フランス有数の規模と歴史を持つバラ園の1つで、9500もの品種による約1100本のバラがコレクションされています。



16区役所によって寄贈された「シモーヌ・ヴェイユの薔薇」の植え込みの前に、関係者やさまざまな地域からのルネサンス・フランセーズ会員が集まりましたが、個人的に参加された方もいらっしゃったようです。



はじめに、この式典の代表である **Dominique-Henri Perrin** 理事によってルネサンス・フランセーズの理念とシモーヌ・ヴェイユの名前を冠した薔薇に纏わる経緯が語られ、16 区長の代理を務めた第一補佐官、**Jérémy Redler** 氏からの言葉に続いて植樹を記念する石碑を覆っていた欧州旗が取り外されました；



ドミニク・アンリ・ペラン氏

ルネサンス・フランセーズ理事会メンバー ラングドック・ルシヨン代表部会長



16 区役所第一補佐官ジェラミー・ルドラー氏





Massif de rose 《Simone Veil》

Présidente d'honneur de La Renaissance Française de 1998 à 2018

Offert par la Mairie du XVI arrondissement

と記されたプレートの文字が現れた瞬間、どこからともなく拍手が沸き起こり、2017年に89歳で亡くなるまでルネサンス・フランセーズの名誉会長を務めたシモーヌ・ヴェイユに対する変わらぬリスペクト、彼女のライフ・ワークでもあった正義と平和維持への希求を、参加した方々と共有できたような気が致します。

併設されたカフェで喉の渇きを癒し、園内を散歩した後、Perrin 理事の奥様の運転で最寄りの駅まで送って頂きました！



ウジェーヌ皇后の東屋

シモーヌ・ヴェイユの薔薇の植え込みは、ウジェーヌ皇后の東屋の下方にあります。普段は何気なく訪れていた公園ですが、今日のセレモニーをきっかけに、バガテル・ラ・ロズレを散策する度に地球の平和を祈ることになるでしょう。今後も、この運動が世界中に広がり、その願いが叶いますように。

中野真帆子